

平成 23 年 9月 補正予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)			区分
9	下水道汚水事業			新規 <b>(拡大)</b> 継続
会計区分	款	項	目	所管
下水道事業会計	1	1	1	建設局 下水道部 下水道計画課
事務事業の位置付け				
しあわせ倍増プラン2009	番号	51-3	事業名	下水道の整備
総合振興計画新実施計画	事業コード	6302	事業名	下水道汚水事業
根拠法令・条例・規則等	下水道法			
予算要求事業の概要				
内容	本市の下水道事業は、行政面積77%にあたる約16,800haを公共下水道の整備区域(全体計画区域)として定め、単独公共下水道と流域関連公共下水道によって整備を進めています。平成23年度は、未整備地区の多い西区、見沼区、桜区、緑区及び岩槻区を重点的に整備することで、平成23年度末における下水道普及率を89.0%(+1.1%)に向上させます。			
目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 下水道汚水事業は、市民の生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るものです。</p> <p>&lt;目標(平成23年度末)&gt; 下水道普及率 89.0% (しあわせ倍増プラン 平成24年度末数値目標 : 90.0%)</p>			
現状と課題	<p>&lt;現状(平成22年度末)&gt; 下水道普及率 87.9%達成</p> <p>&lt;課題&gt; 私道の公共下水道整備については、早期水洗化の実現が図られ、市民サービスの向上につながることから、積極的な整備を実施しているところです。市民ニーズも高く、整備申請件数が増加傾向にあり、未整備のままとなっている私道が平成23年度末時点で約270件程度見込まれるため、早急な整備が課題となっています。</p>			
今後のスケジュール	平成23年11月 工事着工 平成23年度末 工事完了			

2 補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	緊急経済対策として、公共投資臨時交付金基金を活用し、私道下水道工事を実施することにより、早期水洗化を図るとともに、市内の経済活性化及び市民サービスの向上に寄与します。
	実施義務	根拠法令等 下水道法
	他市の実施状況	政令市： 市内他市：
効果	対象者	市民
	効果	早期水洗化を促進し、市内の経済活性化及び市民サービスの向上が図られます。

3 補正前予算と補正予算要求の内容 (単位：千円)

区分	金額	備考
平成23年度	<b>補正前予算</b> 8,646,039	<p>&lt;積算内訳&gt;</p> <p>1 工事請負費(補助事業) 5,811,800</p> <p>2 工事請負費(単独) 1,123,300</p> <p>3 委託料(都市機構) 116,000</p> <p>4 委託料(単独) 748,300</p> <p>5 その他 846,639</p>
	財源内訳 企業債 6,348,500 国庫支出金 2,184,700 負担金 112,839	
9月補正予算	<b>補正予算要求</b> 80,000	<p>&lt;積算内訳&gt;</p> <p>1 工事請負費 5件 私道下水道工事</p> <p>・公営企業債(下水道事業 充当率100%) ・他会計補助金(地域活性化・公共投資臨時交付金基金繰入金)</p>
	財政局長査定 80,000	<p>&lt;査定内容&gt;</p> <p>1 工事請負費 5件 私道下水道工事</p> <p>・公営企業債(下水道事業 充当率100%) ・他会計補助金(地域活性化・公共投資臨時交付金基金繰入金)</p>
	財源内訳 企業債 5,000 他会計補助金 75,000	
<p>&lt;査定理由&gt; 経済対策として、下水道の整備計画を前倒して早期発注・早期実施する必要があると判断し、9月補正予算に計上することとしました。</p>		
<p><b>市長査定</b> 80,000</p> <p>&lt;査定内容&gt;</p> <p>1 工事請負費 5件 私道下水道工事</p> <p>・公営企業債(下水道事業 充当率100%) ・他会計補助金(地域活性化・公共投資臨時交付金基金繰入金)</p>		
<p>&lt;査定理由&gt; 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。</p>		